

しょうがっこうをおくる会 様



オーダーメイド・プロジェクト
東ティモールにおける教室建設プロジェクト
【概要書】

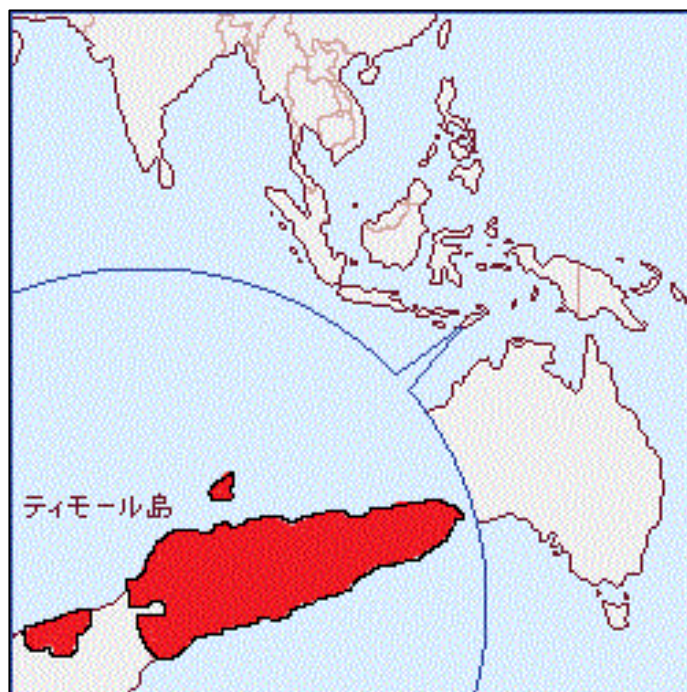


東ティモールの女の子

公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン
2023年3月28日

■実施地域

本プロジェクトは、東ティモール南西部、アイレウ県ファツボサ村での実施を予定しています。



【出典】「外務省」



アイレウ県

【プラン・インターナショナルの東ティモールでの活動】

- 2001年より活動を開始。
- 現在は首都ディリにある国統括事務所と2つの現地事務所を拠点として住民参加型開発活動に取り組む

■基本データ

指標	東ティモールのデータ	日本のデータ
人口	131万8,000人	1億2,647万6,000人
出生時の平均余命	70年	85年
5歳未満児死亡率(出生1,000人あたり)	44	2
初等教育の修了率	男の子:77 女の子:85	—
若者(15~24歳)の識字率	男:82% 女:85%	—

【出典】「ユニセフ世界子供白書2021」

■ 背景

【国】

東ティモールの人口は130万人ほどで、その約半分が18歳未満。2006年まで紛争が絶えなかったため、国民の41%がいまだに貧困ライン以下の生活(1日1人1.9米ドル未満)を送っている。また、教育や保健サービスへのアクセスは農村部と都市部との格差が激しい。

【実施地域／アイレウ県ファツボサ村】

- ファツボサ村は、都市部から遠く離れた地域に位置し、基本的な社会サービスやインフラへのアクセスが難しい。
- 同村には268世帯、1,602人が暮らしている。
- 住民の主な収入源は農業で、豆、サツマイモ、にんにく、野菜等を栽培している。
- 強風など自然災害の多発地帯にある。

【対象校】

- 支援対象となるEBFカイカサ小学校はファツボサ中央小学校の分校であり、中央小学校から約17kmの距離にある。
- カイカサ地区および近隣地区の子どもたちが通学している同分校では現在1年生から4年生まで計80人の児童が学んでいる。教師は5人。
- 分校の教室は地元の資材で簡易に建てられた間に合わせのもので、状態が非常に悪い。教室の壁、床、天井は老朽化が進んでおり、破損が激しい。
- 自然災害の発生時に現在の教室は児童・教師にとって安全な状態ではない。
- 児童数に対してスペースが不足、教室備品や教材も不十分。
- ジェンダー平等、包摂※、暴力の弊害について学ぶ機会が不足している。

※誰も排除されず、全員が社会に参画する機会を持つこと

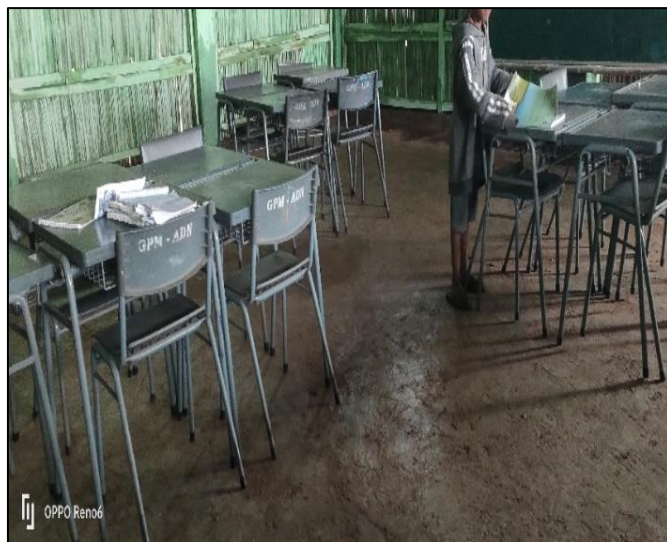
- 課題1. 現在、児童は安全性に懸念があり、スペースも十分でない教室で学んでいる年間を通じて台風等の自然災害の多い地域のため建物の損壊リスクが大きい。
- 課題2. 教室備品や教材等も不足している。
- 課題3. 地域に、ジェンダー平等、包摂、暴力の弊害に関する理解が不足している。



子どもたちが安心して学べる教育環境が必要

■ 現状写真

EBFカイカサ小学校(分校)の外観
左の赤い建物は倉庫と台所、
他はコミュニティが簡易に建設した教室棟



教室内部の様子
老朽化し破損箇所も多く、雨風が防げない
備品や教材も不足している

■プロジェクト概要

項目	内容
目標	アイレウ県ファツボサ村カイカサ地区の小学校分校において2教室を建設し、ジェンダー平等、包摂的で暴力のない環境について意識啓発を行うことで、子どもたちが安全に学べる学校づくりを目指す。
実施期間	約1年間
対象者	対象5校に通う生徒80人（女の子34人、男の子46人）および 教員5人（うち女性1人） 地域住民326人
活動内容	<ol style="list-style-type: none">1. 2教室の建設2. 教室備品および教材の支給3. ジェンダー平等、包摂、暴力の弊害に関する意識啓発活動

実施地域や内容は、現地の事情などで変更が必要となる場合があります。予めご了承ください。
その際には速やかに報告いたします。

■ 期待される成果

成果1. 頑丈で十分な広さの教室が建設される。

成果2. 教室に教室備品と教材が備わる。

成果3. 児童と教員がジェンダー平等、包摂や暴力の弊害について意識が高まる。

以上により、対象校に通う子どもたちが、安全な学習環境のもとでより質の高い教育を受けられるようになる。

■ 予算

活動内容	予算(日本円)
教室の建設	9,456,000
教室備品と教材の支給	1,279,000
ジェンダー平等、包摂、暴力の弊害に関する意識啓発活動	665,000
管理費	600,000
合計	12,000,000

「管理費」には本プロジェクトに関わる人件費および施設費などを含んでいます。

現地での支払いには現地通貨を使用します。そのため活動は為替の影響を受ける可能性があります。予めご了承ください。

■SDGs(持続可能な開発目標)への貢献

SDGsとは: Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)

2015年9月に国連の全加盟国193カ国によって世界共通の目標として承認された。2030年までに「誰も置き去りにせず、世界から貧困を根絶する」こと、そして「地球を持続可能なものにする」ことを目指している。17の目標と169のターゲットから構成され、教育、保健・衛生、ジェンダー平等をはじめ、気候変動への対応、生態系の保全、平和構築などを幅広くカバーし、包括的な内容となっている。

プラン・インターナショナルはSDGsに賛同し、その達成に貢献する活動をしています。本プロジェクトが貢献するのは下記の目標です。

目標4「すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」
目標5「ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う」

目標の詳細は、次ページをご覧ください。
赤で囲っているのが本プロジェクトが貢献するターゲットです。

【SDGs目標4】



すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

4.1	2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。
4.2	2030年までに、すべての子どもが男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。
4.3	2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む 高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
4.4	2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
4.5	2030年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障がい者、先住民及び脆弱な立場にある子どもなど、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。
4.6	2030年までに、すべての若者及び大多数(男女ともに)の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようにする。
4.7	2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

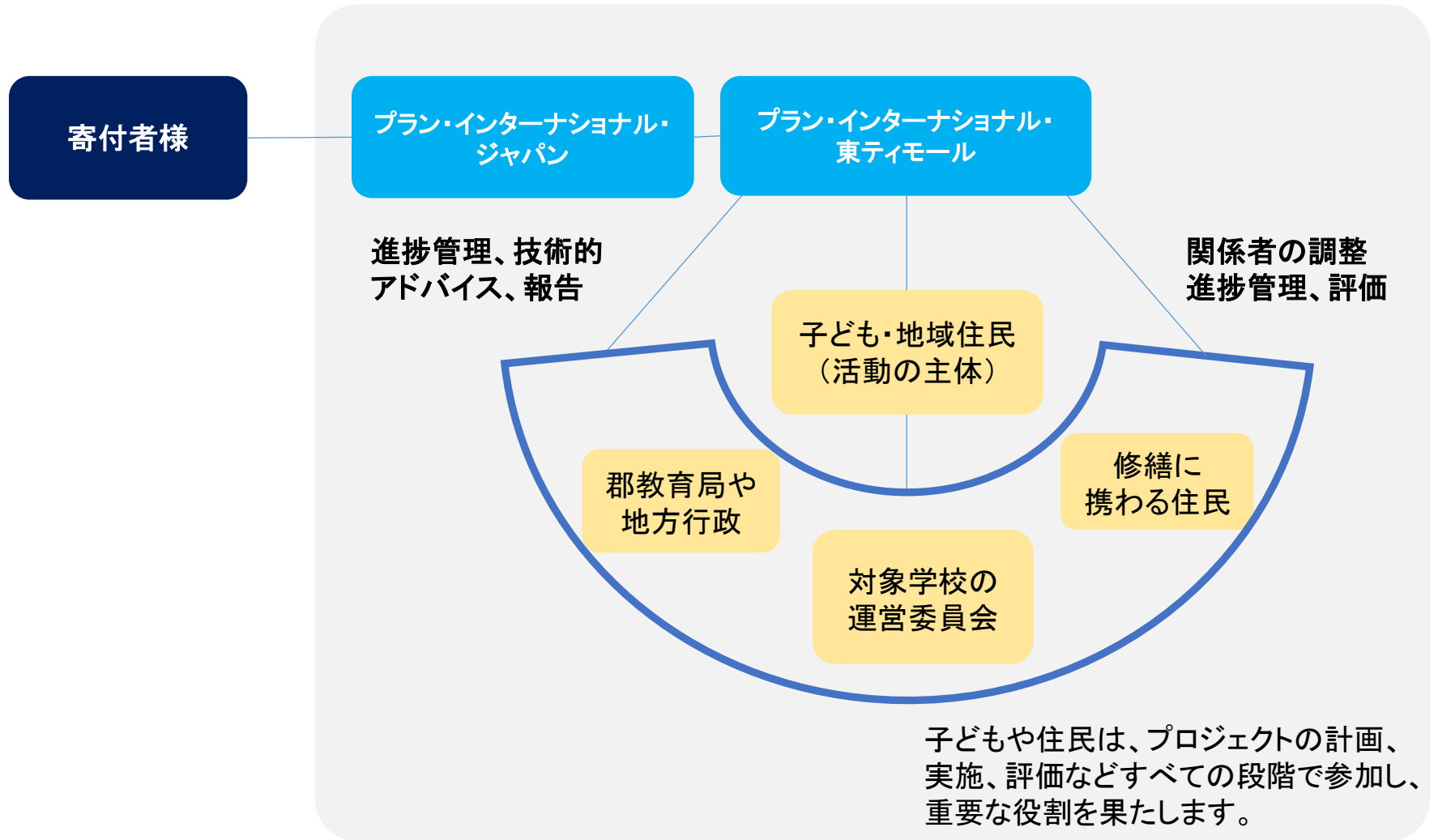


【SDGs目標5】

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

5.1	あらゆる場所におけるすべての女性 及び 女児 に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
5.2	人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性 及び 女児 に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
5.3	未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。
5.4	公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、ならびに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
5.5	政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
5.6	国際人口・開発会議（ICPD）の行動計画及び北京行動綱領、ならびにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。
5.a	女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、ならびに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
5.b	女性のエンパワーメント促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
12 ^{5.c}	ジェンダー平等の促進、ならびにすべての女性及び女子のあらゆるレベルでのエンパワーメントのための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。

■ 実施体制



■ 住民の参加

活動は子どもたちを含めた住民参加型で、現地行政とも連携して実施します。

☑住民自身のプロジェクトである、という意識が高まり、プロジェクトの成果が持続します。

☑地方行政と連携することで、プロジェクトを円滑に進め、持続性を高めることができます。



学校建設プロジェクトで新しい教室のデザインについて話し合う児童、教師、保護者たち(ベトナム)



保健所建設プロジェクトで熟練技術の要らない工程で労働力を提供するコミュニティの人々(ガーナ)

■ ご支援いただくと

◆ 報告書を作成します

プロジェクトの経過や具体的な成果を写真や現地の声を含めてご報告いたします。

主な報告の内容

- ・ 背景 ・ 実施内容・成果
- ・ 支出 ・ 活動などの写真

◆ 記念プレートを設置

企業名やロゴを明記した記念プレートをプロジェクト成果物に設置します。

◆ プロジェクト訪問

完了時に現地を訪問し、落成式などの式典にご参加し、プロジェクトの成果をご確認いただけます。

※現在は、新型コロナウイルス感染症予防のため、全てのご訪問を中止／延期いただいております。

- ・ 訪問には現地プランスタッフが同行します。かかる費用(飛行機代・交通費・ガソリン代・車両使用料・宿泊代など)に関しましては、ご負担をお願いします。
- ・ 現地受入の日程調整には時間がかかりますので、お早めにご連絡をお願いします。

■ 問い合わせ先

企業連携担当： 深瀬 泰子

TEL: 080-7739-3430 / 03-5481-7100

Email: yasuko.fukase@plan-international.jp



プレートイメージ



落成式の様子